



平成 29 年 12 月 22 日

## イノベーション京都 2016 投資事業有限責任組合の投資について

京都大学イノベーションキャピタル株式会社（以下「京都 iCAP」）（本社：京都市左京区、代表取締役：室田 浩司）を無限責任組合員とするイノベーション京都 2016 投資事業有限責任組合（以下「KYOTO-iCAP1 号ファンド」）は、京都大学の研究成果を活用するベンチャー企業であるサイアス株式会社（以下「サイアス」）（本社：京都市左京区、代表取締役：等泰道）に対する追加投資を実行いたしました。

### ○サイアスへの投資実行について

サイアスは、患者自身の細胞傷害性T細胞（キラーT細胞、CTL）を基にしたヒトiPS細胞を用いてT細胞を再生し、がんや感染症に対するT細胞療法の実用化を目指す再生医療ベンチャーです。患者の腫瘍組織や末梢血に浸潤したキラーT細胞は、がん細胞を認識して特異的に傷害する働きを持ち、培養・増殖させて移植することで抗腫瘍効果が期待できますが、体外で培養・増殖させることが難しいという問題がありました。このキラーT細胞を一旦、iPS細胞に初期化することで、再び細胞傷害活性を有するキラーT細胞に分化・誘導でき、かつ大量に増殖することができます。サイアスではこの技術により世界初の再生T細胞（T-iPS細胞）による免疫療法の実現を目指しています。

同社は、京都大学 iPS細胞研究所（CiRA） 金子研究室（金子新准教授）と共同研究契約を締結し、「Generation of Rejuvenated Antigen-Specific T Cells by Reprogramming to Pluripotency and Redifferentiation」（Cell Stem Cell）等の論文に基づく幅広いT-iPS細胞関連技術のライセンスを受けながら、T-iPS細胞の自家療法への応用に向けた開発を進めています。

京都iCAPでは、京都大学の重要な研究成果のひとつであるiPS細胞技術を用いて、近年大きく期待の高まるがん免疫療法のひとつのアプローチとして、再生T細胞療法を一日も早く患者に送り届けようとするサイアスの挑戦が有する社会的意義を評価し、今般、更なる研究開発の進展と前臨床試験に向けた準備のための資金として150百万円の追加投資を実行いたしました。

### サイアス 会社概要

設立	平成 27 年 8 月 24 日
事業内容	再生 T 細胞（T-iPS 細胞）によるがん等の治療法の開発
本社所在地	京都市左京区
代表取締役	等泰道



## ○京都大学イノベーションキャピタル株式会社（京都 iCAP）について

京都 iCAP は、京都大学に属する研究者による知（研究成果・技術等を含む）を事業化することを目的とする企業（共同研究企業からのカーブアウトを含む）へ、投資その他の支援を行うことを目的に、平成 26 年 12 月に国立大学法人京都大学の 100%出資子会社として設立されました。当社は、平成 28 年 1 月に京都大学及び民間金融機関からの出資を受け、当社を無限責任組合員とする 160 億円の KYOTO-iCAP1 号ファンドを組成いたしました。

当社では、基礎研究に強みを持つ京都大学の研究成果を基に、その実用化を志向する大学発ベンチャーに対して、期間 15 年のファンド運用期間を活かして、シード・アーリーステージの段階から長期に亘る支援・出資を行ってまいります。

### 【お問い合わせ先】

京都大学イノベーションキャピタル株式会社  
〒606-8317 京都市左京区吉田本町 36 番地 1  
京都大学国際科学イノベーション棟東館 4 階  
投資部 プリンシパル 兼 広報統括責任者 河野修己  
TEL : 075-753-5303 FAX : 075-753-7592  
E-mail : [info@kyoto-unicap.co.jp](mailto:info@kyoto-unicap.co.jp)